

ちよつとしい話

～ 我が身 ～

21年4月1日

犬畜生は喜怒哀楽の表情を表現する事は出来ますが、自分で起す事は、まず出来ません。しかし人間は自身で喜びも悲しみもつかむ事が出来ます。電気やモーターはプラス、マイナスが正常に働けば電気が点灯しモーターが回ります。地球には東西南北があり自然の動き作用があります。人間は男性と女性がおり、結婚し男性の機能と女性の機能が正常に働けば正常な子宝の誕生となります。しかしながら正常な働きが無ければ不具合を持つ子供の誕生となります。人間は複雑怪奇な生き物です。結果がでれば、必ず原因があるはずで、最近ではホモ、レズと言う（特異体質の）方も堂々とTVに出ています。反発しあって稼働する物も確かにあります。人間が肉体的精神的に故障する度に不具合不調に悩み苦しみます。健康を取り戻した時、正常時の有難さを感じ喜びに浸る事が出来ます。物事はトラブルがあつて初めて正常の有難さが分かります。仏教では人間は四大（地・水・火・風）の元素からなり、この調和が崩れた時に病に罹り、四大不調をもって逝去に到るとしてあります。『登山状』の中に「春のうららを庭園に咲き誇る見事な花を愛でては、ぼんやりすごしたり、かと思えば栄耀栄華を求め常識を逸脱したり、この世の無常の摂理を考えず日々を送り続けることは悲しい事です。又、我々は肉親の情に溺れやすく、その情を断ち切れず悩むものです。或いは人を恨み、怒り苦しみ地獄八難（感覚機能等身体的問題もある）の境涯に生まれる行いを重ねているのです。妻子あれども死出の旅路は唯一人、藏の中に沢山の財宝があつても死出の旅路の役には立ちません。死して我が身に從うのは後悔の涙だけです。いよいよ閻魔大王が待ち受ける法廷に到り、罪の浅い、深い、軽い、重い、等々について判定が下ります。云々」茫々とした人生から離れ、佛様の教え道理と義理を守り、尊信し精進する事によって極楽行きの切符を閻魔大王様から頂ける事に成ります。閻魔大王様は冠をかぶり身に黄色い衣を着け手に捕縄を持ち、その縄で靈魂を縛るのです。当山善入院の油掛地藏尊大祭には善光寺如来様の縁起（指示）により、閻魔大王様の認印を各自の眉間に押しつけて戴ける非常に有難い行事なのです。ですから参拝し万が一の時に此の六道の納め札を亡くなられた人の頭陀袋に入れて持参させ、善人、善女人が結縁した証として閻魔様に差し出して頂くのです。そうすると閻魔様が悪い事もして来たが此の霊は仏縁も結んできたので小罪を滅し、極楽へと送って下さいます。佛縁に感謝

善壽界善入院油掛地藏尊